

平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
 コード番号 2531 URL <https://www.takara.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 睦
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 掛見 卓也
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-241-5124

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	210,622	3.1	15,015	10.4	15,420	10.3	8,952	13.9
30年3月期第3四半期	204,266	18.6	13,604	6.8	13,984	4.3	10,396	17.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 6,807百万円 (54.2%) 30年3月期第3四半期 14,849百万円 (852.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	44.85	
30年3月期第3四半期	51.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	290,503	179,520	50.9
30年3月期	284,281	176,217	51.0

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 147,891百万円 30年3月期 145,111百万円

平成31年3月期の期首より「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等の適用による表示方法の変更を行いましたため、平成30年3月期の連結財政状態は、当該変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				16.00	16.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,000	4.4	17,300	10.8	17,900	11.3	10,000	9.3	50.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	201,699,743 株	30年3月期	201,699,743 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	2,069,706 株	30年3月期	2,069,224 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	199,630,283 株	30年3月期3Q	200,960,374 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

○第3四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は力強さに欠けるものの、企業収益や雇用環境の改善を背景に、経済全体は緩やかな回復基調が続いています。一方、海外においては、欧米を中心に景気拡大が続くと見込まれますが、米国発の貿易摩擦の激化や中東情勢の緊迫などがリスク要因となっており、世界経済は依然として先行きが不透明な状況です。

このような経済状況のもと、当社グループは、長期経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の達成に向けた最終ステップとしての「宝グループ中期経営計画2019」のもと、海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数持つことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立することを目指し、着実な事業活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高210,622百万円（前年同期比103.1%）、売上総利益82,915百万円（前年同期比103.9%）、営業利益15,015百万円（前年同期比110.4%）、経常利益15,420百万円（前年同期比110.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益8,952百万円（前年同期比86.1%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝酒造]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、酒類では、焼酎や清酒は減少いたしました。ソフトアルコール飲料は、引き続き“タカラ「焼酎ハイボール」”が好調に推移いたしましたので、酒類全体の売上高は増加いたしました。

調味料は、みりんの減少などにより減少いたしました。原料用アルコール等では、工業用アルコールなどが好調に推移いたしましたので増加いたしました。

以上の結果、宝酒造の売上高は、119,001百万円（前年同期比101.0%）となりました。売上原価は、70,919百万円（前年同期比101.3%）となりましたので、売上総利益は、48,081百万円（前年同期比100.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、運送費や販売促進費などの増加により、41,397百万円（前年同期比100.7%）となりましたので、営業利益は、6,683百万円（前年同期比99.8%）となりました。

[宝酒造インターナショナルグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、FOODEX S.A.S.（仏国）やMutual Trading Co., Inc.（米国）などの海外日本食材卸事業が好調に推移いたしましたので、56,843百万円（前年同期比110.7%）となりました。売上原価は、40,196百万円（前年同期比111.1%）となりましたので、売上総利益は、16,647百万円（前年同期比109.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費や運送費などの増加により13,416百万円（前年同期比111.9%）となりましたので、営業利益は、3,230百万円（前年同期比100.8%）となりました。

[タカラバイオグループ]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力の研究用試薬が増加したことに加え、日本におけるNY-ES0-1・siTCR[®]遺伝子治療薬およびCD19・CAR遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約にかかる対価料の受領等により25,888百万円（前年同期比114.3%）となりました。売上原価は、売上高の増加により10,947百万円（前年同期比110.8%）となりましたので、売上総利益は、14,940百万円（前年同期比117.0%）となりました。販売費及び一般管理費は、人件費などが増加し、11,507百万円（前年同期比103.1%）となりましたので、営業利益は、3,432百万円（前年同期比213.4%）となりました。

[その他]

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前連結会計年度中にタカラ長運株式会社の株式を売却したことに伴い、同社を連結の範囲から除外した影響などにより、25,593百万円（前年同期比88.0%）となりました。売上原価は、21,621百万円（前年同期比88.7%）となりましたので、売上総利益は、3,971百万円（前年同期比84.2%）となりました。販売費及び一般管理費は、2,320百万円（前年同期比89.3%）となりましたので、営業利益は1,651百万円（前年同期比78.0%）となりました。

品種別販売実績

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)	前年 同期比
品種	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
宝酒造			
焼酎	42,608	41,186	96.7
清酒	18,302	17,524	95.7
ソフトアルコール飲料	26,602	29,742	111.8
その他酒類	5,133	5,051	98.4
酒類計	92,647	93,505	100.9
本みりん	11,304	11,032	97.6
その他調味料	7,851	7,779	99.1
調味料計	19,156	18,811	98.2
原料用アルコール等	6,041	6,683	110.6
計	117,845	119,001	101.0
宝酒造インターナショナルグループ			
海外酒類	7,424	7,616	102.6
海外日本食材卸	45,231	50,591	111.9
その他	33	48	145.2
グループ内連結消去	△1,324	△1,413	—
計	51,364	56,843	110.7
タカラバイオグループ	22,646	25,888	114.3
報告セグメント計	191,856	201,732	105.1
その他	29,090	25,593	88.0
セグメント計	220,946	227,326	102.9
事業セグメントに配分していない 収益およびセグメント間取引消去	△16,680	△16,703	—
合計	204,266	210,622	103.1

(注) 販売金額には酒税を含んでおりますが、消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は181,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,626百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1,239百万円、受取手形及び売掛金が12,550百万円、商品及び製品が3,406百万円、流動資産その他が1,313百万円それぞれ増加し、有価証券が8,622百万円減少したことによるものであります。

固定資産は108,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,405百万円減少いたしました。これは主に、無形固定資産が1,429百万円、投資有価証券が3,745百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、290,503百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,221百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は61,785百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,073百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が2,077百万円、短期借入金固定負債からの振替などにより4,726百万円、未払酒税が3,375百万円それぞれ増加し、未払法人税等が1,057百万円減少したことによるものであります。

固定負債は49,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,154百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が5,170百万円、繰延税金負債の減少などにより固定負債その他が1,057百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、110,982百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,918百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は179,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,303百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が5,758百万円増加し、その他有価証券評価差額金が2,641百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における当社グループの連結業績は、平成30年11月6日に公表した連結業績予想に対して、ほぼ計画通り進捗しております。

なお本日(平成31年1月30日)、当社の連結子会社であるタカラバイオ株式会社(コード番号4974 東証一部)が「業績予想の修正および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」を公表しておりますが、連結業績への影響は軽微であるため、当社グループの連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,754	48,994
受取手形及び売掛金	57,889	70,440
有価証券	19,721	11,099
商品及び製品	37,979	41,386
仕掛品	997	1,392
原材料及び貯蔵品	3,932	4,311
その他	3,122	4,435
貸倒引当金	△329	△366
流動資産合計	171,067	181,694
固定資産		
有形固定資産	57,485	57,597
無形固定資産		
のれん	13,765	13,022
その他	8,504	7,818
無形固定資産合計	22,269	20,840
投資その他の資産		
投資有価証券	28,607	24,862
その他	4,928	5,576
貸倒引当金	△77	△68
投資その他の資産合計	33,458	30,371
固定資産合計	113,213	108,808
資産合計	284,281	290,503
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,544	18,621
短期借入金	5,221	9,947
未払酒税	9,278	12,654
未払費用	5,639	5,775
未払法人税等	3,126	2,069
賞与引当金	2,286	1,570
販売促進引当金	1,853	2,206
その他の引当金	225	250
その他	8,535	8,689
流動負債合計	52,712	61,785
固定負債		
社債	25,000	25,000
長期借入金	10,620	5,449
退職給付に係る負債	8,759	8,794
長期預り金	5,312	5,351
その他	5,659	4,601
固定負債合計	55,352	49,197
負債合計	108,064	110,982

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	2,219	2,262
利益剰余金	117,571	123,329
自己株式	△1,367	△1,368
株主資本合計	131,649	137,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,520	8,878
繰延ヘッジ損益	△120	100
為替換算調整勘定	2,645	2,054
退職給付に係る調整累計額	△583	△592
その他の包括利益累計額合計	13,461	10,440
非支配株主持分	31,106	31,629
純資産合計	176,217	179,520
負債純資産合計	284,281	290,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	204,266	210,622
売上原価	124,486	127,706
売上総利益	79,779	82,915
販売費及び一般管理費	66,175	67,900
営業利益	13,604	15,015
営業外収益		
受取配当金	497	553
その他	644	512
営業外収益合計	1,141	1,065
営業外費用		
支払利息	463	276
その他	297	384
営業外費用合計	761	661
経常利益	13,984	15,420
特別利益		
受取保険金	—	71
関係会社株式売却益	3,312	—
その他	174	9
特別利益合計	3,486	81
特別損失		
減損損失	—	696
その他	106	378
特別損失合計	106	1,075
税金等調整前四半期純利益	17,364	14,426
法人税、住民税及び事業税	5,824	4,627
法人税等調整額	342	△310
法人税等合計	6,167	4,316
四半期純利益	11,197	10,110
非支配株主に帰属する四半期純利益	800	1,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,396	8,952

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	11,197	10,110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,872	△2,641
繰延ヘッジ損益	201	214
為替換算調整勘定	541	△875
退職給付に係る調整額	36	△0
その他の包括利益合計	3,651	△3,302
四半期包括利益	14,849	6,807
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,150	5,931
非支配株主に係る四半期包括利益	698	875

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	117,566	51,123	22,112	190,803	13,455	204,258	7	204,266
セグメント間の内部 売上高又は振替高	278	241	533	1,053	15,634	16,688	△16,688	—
計	117,845	51,364	22,646	191,856	29,090	220,946	△16,680	204,266
セグメント利益	6,698	3,206	1,608	11,513	2,115	13,629	△25	13,604

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去60百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△86百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、タカラバイオ株式会社の100%子会社であるTakara Bio USA Holdings Inc.がWaferGen Bio-systems, Inc.及びRubicon Genomics, Inc.の株式を取得したことにより、のれんを計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては7,713百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宝酒造	宝酒造イ ンターナ ショナル グループ	タカラバ イオグル ープ	計				
売上高								
外部顧客への売上高	118,520	56,625	25,480	200,626	9,996	210,622	0	210,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	481	217	407	1,106	15,597	16,703	△16,703	—
計	119,001	56,843	25,888	201,732	25,593	227,326	△16,703	210,622
セグメント利益	6,683	3,230	3,432	13,346	1,651	14,997	18	15,015

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社の不動産賃貸事業及び国内グループ会社の物流事業等であります。
2. 調整額の内容は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高は、当社において計上した業務受託収入であります。
- (2) セグメント利益は、セグメント間取引消去55百万円、事業セグメントに配分していない当社の損益△37百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「タカラバイオグループ」セグメントにおいて、遊休化が見込まれる当該事業用資産および事業譲渡予定資産にかかる減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては696百万円であります。